

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとんぼくくスポーツさくら台校		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 11日		～ 2026年 3月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムについて高い評価が得られており、運動療育を中心とした多様な活動が子どもの意欲や楽しさに繋がっている。また、支援内容や個別支援計画についても概ね理解・満足が得られている。	子どもが楽しみながら参加できる活動プログラムを取り入れ、通所意欲の向上に繋がっている。また、支援内容について保護者への説明を行い、理解促進に努めている。	運動療育の強みを活かしつつ、子どもの成長や変化をより分かりやすく保護者へ伝える機会を増やし、連携強化を図る。
2	運動療育を軸とした活動プログラムをチームで検討し、固定化しないよう工夫している点が強みである。また、支援前後の打合せ等により、日々の支援内容の確認・共有が行われている。	運動療育を中心に、子どもの状況に応じた活動を柔軟に組み合わせて実施している。また、支援内容について職員間で共有し、統一した支援を意識している。	活動プログラムの質の向上に加え、職員間の情報共有や振り返りを強化し、支援の標準化と専門性の向上を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援(面談・助言・交流機会)や地域交流について、「どちらともいえない」「わからない」の回答が多く、取組や周知が十分でない可能性がある。また、アンケート回収率が低く、意見収集に課題がある。	保護者支援や地域交流について、実施機会の不足と情報発信の不足により、取組が十分に伝わっていないことが要因と考えられる。	保護者面談や交流機会を計画的に実施するとともに、活動内容や支援状況の情報発信を強化し、理解と連携の向上を図る。
2	業務改善(PDCA)や支援の振り返り、記録の活用等にばらつきが見られ、組織的な運営体制に課題がある。また、外部連携や地域交流の機会が限定的である。	業務改善や振り返りの仕組みが十分に定着していないこと、また外部連携を計画的に実施する体制が整っていないことが要因と考えられる。	PDCAサイクルの定着や支援の振り返りを強化し、業務改善を進める。また、地域交流や外部連携を計画的に実施し、支援の質の向上を図る。
3			